

学園だより

令和6年度

3月号

# 港島

神戸市立義務教育学校港島学園

神戸市中央区港島中町3-2-2・3

小: TEL302-1661/FAX302-1662

中: TEL302-1771/FAX302-1775

<http://www.kobe-c.ed.jp/mjm-js>

校長 三宅 義範

## 人・言葉との出会いが「あなた」をつくる

校長 三宅 義範

「自分じゃ、まだ気が付いてないかもしれないけど、君は、ある大きなものを日々生み出している。」

これは、「君たちはどう生きるか」にある一文です。約80年前に書かれた児童書ですが、今も色あせることなく、生き生きとした言葉を読者に投げかけてくれます。主人公はコペル君（中学2年生15歳）。コペル君にはおじさんがいて、コペル君の悩みや疑問にアドバイスをしてくれます。このアドバイスが、素晴らしいのです。

考えさせられた会話はたくさんありました。その中のいくつかを紹介したいと思います。

まず、「ありがたい」という言葉です。漢字で書くと「有難い」です。この言葉の意味をおじさんはこう説明しています。

「“ありがたい”という言葉によく気をつけて見たまえ。この言葉は、“感謝すべきことだ”とか“御礼をいうだけの値打ちがある”とかという意味で使われているね。しかしこの言葉のもとの意味は、“そうあることがむずかしい”という意味だ。自分の受けている仕合せがめったにあることじゃないと思えばこそ、われわれは、それに感謝する気持ちにな

る……(中略)君がぐんぐんと才能を伸ばして行って、世の中のために本当に役に立つ人になってくれることを！たのむよ、コペル君！」

次に、同級生と雪合戦をしていた時に、同級生2名が先輩(5, 6名)から制裁を加えられる場面があります。コペル君は、同級生と誓い合った約束を実行できずに第三者として様子をうかがいます。その結果、同級生と溝ができてしまいます。機嫌を直してもらうためにどうすればいいのかわからないので、おじさんに相談します。この時は、「コペル君」と呼ばず「潤一君」と名前前で呼び、その後、「そんな考え方をするのは間違っているぜ。君は、友だち同志の堅い約束を破ってしまったんじゃないか。黒川のゲンコツがこわくって……(中略)自分でも悪かったと思い、北見君たちが怒るのも仕方がないといっている。それなのに、……(中略)。自分のしたことに対し、どこまでも責任を負おうとしないんだい。」コペル君は、鞭でピシピシと打たれているような気持ちでした。おじさんは、構わずはげしい調子でつづけました。「どんなにつらいことでも自分のした事から生じた結果なら……堪え忍ぶ覚悟をしなくっちゃいけないんだよ……(中略)一たん約束した以上、どんな事になっても、それを守るという勇気が欠けていたからだろう？」

もし、おじさんのアドバイスが、謝っても機嫌を直さない同級生を非難するような発言をしていたら？制裁を加えた先輩が悪いと先輩だけを非難する発言をしていたら？先輩が手を出したのに先輩に向かっていかなかったコペル君は弱すぎる、という発言をしていたら？主人公であるコペル君は、どういう生き方をしていたのでしょうか。

同級生、友達、保護者の方、教師が投げかける「言葉」というのは本当に大切です。

現代は、いろいろな分野の情報を簡単に収集できる時代になっています。しかし、生身の人間に直接かけられる言葉は特別で、より人の心に響くのではないのでしょうか。相手の心に届く言葉がけ、そしてその言葉を受けて判断することが重要です。

ふるさと港島での生活、家庭での生活、地域での生活を通して感動人生の礎(いしづえ)となる人と言葉に出会いましょう。

この本の著者である吉野源三郎さんは、「どのようなメッセージを伝えたかったのか」、と思います。吉野さんの日記の中に、「自己と正面しているものに直面して、眼をそらさないこと。黙って戦い抜くのだ。」と書かれています。

# 6年生の3月

6年生 担任 松島 聡志

「6年生の3月」（2年前、反響をいただきましたので、再掲いたします）

「赤ちゃんは、風邪をひいて、鼻水を出しても、自分ではどうすることもできません。そんな時、以前は（今でも）どうしていたか知っていますか？

実は、そういう時は、親がすすってやるんです。」驚いた表情の6年生児童。

「真夜中に起きて、ミルクをやり、おむつを替える。そうしたことを、みなさんは1人の例外もなく、されながら大きくなってきたのです。」

「なんだか、きたない・・・」だれかが、つぶやく。

「そうです。何のためらいもなくそうしたことができるのは親子の間だけです。」私の言葉に、教室が静まり返る。食い入るような目が光っている。

「自分一人で大きくなったというのは、思い上がりです。どんなに逆らいたくなる親でも、そうしたことをして育ててくれたのです。そしてその見返りを、親は何も期待していません。みなさんにはみなさんの人生があるから、やがて自立していく時がきます。でも修了や卒業のような節目には、親の愛に感謝できる人間であってください。」6年生の3月の教室の一コマです。

## 未来創造

9年学年総務 森本 剛太

9回生が小学1年生の頃に本校は神戸市立義務教育学校港島学園として新たなスタートをきりました。なので、義務教育学校となってから9年間の学びを終えた最初の学年が9回生となります。中学生と小学生の合同授業（ゆに授業）など、学年が上がるにつれて“してもらう側”から“する側”の立場になり、相手を想うことや責任をもった行動をすることの大切さ感じて自身の成長へとつなげてきました。あの小さかった背中が、今では背中で語れる…そんな姿を見ることができて嬉しく思います。

さて、9回生が中学部に進級してきた時、「出会いや体験を通して、人の思いや仲間との絆、人として大切なことを感じて学び、努力を継続することを通じて心を育み、光り輝く3年間としたい。そして、自ら安易に限界を作るのではなく、理想の自分・港島学園の更なる進化と創造を目指して最後まで挑戦し続ける本当の強さと優しさを持つ人・チームになっていきたい。」という想いから学年目標を「未来創造 ～ 挑 ONE FOR ALL, ALL FOR ONE ～ 」と掲げ、9回生全員で中学部生活3年間をスタートしました。その時には、「何があっても君たちのことを嫌いにはならない。もし、叱ることがあったとしても想い・愛情をもって“本気”で伝えたいと思います。逆に、共に挑戦する中で9回生の良いところをたくさん見つけ、どんどん“好き”になっていきたいです。」、9回生が卒業する時は、「もっと一緒にいたい！」そう思えるような瞬間でありたいと、伝えました。あれから共に過ごしてきた3年間は、「なりたい自分」に向けての挑戦の時間でした。たくさんのお会いを通して“想い”を感じて学び、人間力・チームワークを磨いてきました。学年行事・学園行事のどれを振り返っても、ここまでくる1つ1つの大切な過程であったように思います。9回生の進級式の代表生徒挨拶では「未来は、誰にも分からない」という言葉がありましたが、未来は“今の積み重ね”であり、“今”という時間をどのように使うかは、自分次第です。これからも“できない”ではなく、“やってみる”と、挑戦してほしいです。自分勝手に“できない”と決めつけず、何事もやってみましょう。きっと、挑戦することで新たな自分を発見することができると思います。

いよいよ9回生も卒業です。卒業ということは、新しい挑戦ができるという絶好の機会です。在校生の皆さんも、進級するということは、新しい挑戦ができる絶好の機会です。たくさんのお会いを大切に、自分を信じて一步一步自分らしく進んでいきましょう。人生は常に過程です。未来を切り拓いていきましょう。

挑戦する人生は楽しい



## 港島学園 行事予定表 令和7年3月

日	曜	行事予定		
		学園	小学部	中学部
1	土			
2	日			
3	月		朝会(放送)委員会 1年幼保小交流① くっすりーぶの日	
4	火		1年幼保小交流② SC	
5	水		6年修了前身体測定	5p:9年生を送る会 5pまで
6	木		修了おめでとうの会	
7	金		5. 6年児童集会 2年校外学習	7年学年保護者会(輝水館 15:50~)
8	土			
9	日			
10	月		朝会	
11	火		SC	卒業式予行
12	水			公立高校一般入試 6pまで
13	木			
14	金		13:00下校 5時閉校	第9回卒業証書授与式(午後)
15	土			
16	日			
17	月		朝会 40分授業	8年学年保護者会(輝水館 15:50~)
18	火		給食最終日 40分授業	
19	水		給食なし	公立高校合格発表 14:35下校
20	木	春分の日		
21	金	修了式	1~5年生 臨時休業	臨時休業
22	土			
23	日			
24	月	学園終業式 離任式	40分授業	学園終業式・離任式
25	火		新6年生 8:45登校	
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

### ○4月の主な予定

#### <学園>

8日(火) 着任式・学園始業式  
 9日(水) 午前:入学式 午後:進級式  
 22日(火)~24日(木) 家庭訪問(希望制)

#### <小学部>

14日(月) 給食開始  
 17日(木) 6年 全国学力学習状況調査  
 18日(金) 全学年 授業参観・懇談

#### <中学部>

17日(木) 9年 全国学力学習状況調査  
 28日(月) 9年学年保護者会